

2022 年 1 月 14 日

三井不動産株式会社向けサステナビリティ・リンク・ローンへの融資

～温室効果ガス排出削減に向けた取組みを後押しし、脱炭素社会への移行を推進～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、三井不動産株式会社(代表取締役社長 菰田 正信、以下、「三井不動産」)を借入人とするサステナビリティ・リンク・ローン¹に融資を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。

サステナビリティ・リンク・ローンは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標(以下、「SPTs」)の達成状況によって金利が変動する仕組みとなっており、借入企業の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援することを目指す金融商品です。

三井不動産は、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、不動産ビジネスを通じて社会・経済の発展を目指すと共に、地球環境の保全に資する取組みを積極的に推進しています。2021 年 11 月には脱炭素社会の実現に向けたグループ行動計画を公表し、2050 年度までの三井不動産グループ全体の温室効果ガス排出量ネットゼロに向けて、中期目標として“2030 年度までに温室効果ガス(Scope1+2²)の排出量を 46.2%削減(2019 年度対比)すること”等を掲げています。

本融資では、中期目標である 2030 年度までの Scope1+2の排出削減目標を SPTs に設定し、目標達成に応じて金利が変動する仕組みとなっています。三井不動産は当該目標の達成に向けて、保有不動産の環境性能向上や再生可能エネルギーの導入施設の増加、メガソーラー事業の拡大等を通じ、温室効果ガスの排出削減を推進する計画です。当社は本融資が、三井不動産における持続可能な社会の実現に向けた取組みの後押しとなることを期待しています。

当社は、今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

【案件概要】

借入人	三井不動産株式会社
期間	20 年
サステナビリティ・パフォーマンス目標(SPTs)	三井不動産グループ全体の Scope1+2における温室効果ガス排出量を 2030 年度までに 46.2%削減(2019 年度対比)

¹ 本融資は、SPTs や適用金利等のサステナビリティ・リンク・ローン(SLL)に関する要件を統一的に定義した「包括型 SLL フレームワーク」を制定しています。「包括型 SLL フレームワーク」を制定することで、各金融機関との個別取引に当該フレームワークを汎用的に適用することが可能となります。なお、本フレームワークについては株式会社格付投資情報センター(R&I)から、サステナビリティ・リンク・ローン原則等との整合性について第三者意見を取得しています。

² Scope1は事業者自らにより直接排出された温室効果ガスを、Scope2は他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴い間接排出された温室効果ガスを指します。